

平成26年三重県議会定例会

予算決算常任委員会
教育警察分科会資料

付託議案審査

- 議案第3号「平成26年度三重県一般会計予算」……………1頁

- 議案第103号「平成25年度三重県一般会計補正予算(第8号)」
……………11頁

- 議案第52号「三重県警察関係手数料条例の一部を改正する条例案」
……………12頁

平成26年3月

警察本部

議案第3号「平成26年度三重県一般会計予算」(警察本部関係)

1 予算編成にあたっての基本的な考え方

安全で安心な地域社会を実現するため、検挙、取締り等の警察活動はもとより、地域社会と一体となった諸活動を推進してきた結果、県内の刑法犯認知件数はピークであった平成14年の半数以下にまで減少したものの、県民に強い不安を与える凶悪犯罪、県民の身近で発生する街頭犯罪、子どもや女性が被害者となる犯罪が多発していることや、サイバー空間における犯罪にみられるような治安上の脅威が深刻化しており、いまだ県民の不安を解消するには至っておりません。

また、交通事故死傷者数は減少傾向にあるものの、高齢死者が全死者の約半数を占めているほか、飲酒運転が絡む死亡事故も後を絶たない状況にあります。

一方、南海トラフを震源とする巨大地震への備えなど、大規模災害対策の重要性が一層高まっております。

このような情勢を踏まえ、警察本部では、平成26年三重県警察運営の重点目標の「執務の基本方針」を

・『県民と共に築く安全で安心な三重』の実現 ～強く・正しく・温かく～

とし、「執行の重点」を

- 犯罪の抑止対策の推進と検挙の徹底
- 子供・女性を守る取組と少年健全育成対策の推進
- サイバー空間の安全を確保するための総合対策の推進
- 大規模災害等緊急事態に備えた対策の推進とテロの未然防止
- 暴力団等犯罪組織の壊滅と犯罪のグローバル化・犯罪インフラ対策の推進
- 交通死亡事故等抑止対策の推進
- 犯罪被害者等支援の推進と相談等への迅速・確実な組織対応

とし、三重県の治安維持に取り組んでまいります。

平成26年度当初予算は、これらの治安維持活動に必要な予算を編成したところであり、これにより、「県民の安全・安心」を確保し、三重県の治安水準の一層の向上に努めてまいります。

2 平成26年度施策別予算

【単位：千円】

施策名	H26当初(A)	H25当初(B)	増減(A-B)
111 防災・減災対策の推進	35,770	81,343	▲ 45,573
11102 災害対応力の充実・強化	10,402	6,801	3,601
11104 迅速な対応に向けた防災情報の共有化	25,368	74,542	▲ 49,174
131 犯罪に強いまちづくり	4,024,293	3,429,954	594,339
13101 みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進	91,141	136,722	▲ 45,581
13102 犯罪の徹底検挙と抑止のための活動強化	469,399	485,290	▲ 15,891
13103 組織犯罪対策の推進	17,318	17,768	▲ 450
13104 犯罪被害者等支援対策の推進	45,738	52,622	▲ 6,884
13105 県民の安全を守る活動基盤の整備	3,400,697	2,737,552	663,145
132 交通安全のまちづくり	2,650,861	2,725,558	▲ 74,697
13201 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進	1,306,738	1,094,968	211,770
13202 安全で快適な交通環境の整備	1,200,622	1,442,678	▲ 242,056
13203 交通秩序の維持	143,501	187,912	▲ 44,411
その他(人件費等)	30,257,985	30,442,422	▲ 184,437
合計	36,968,909	36,679,277	289,632

3 特定政策課題枠

事業名	平成26年度当初予算
(新)チャイルドガーディアンみえ推進事業	25,060千円
子ども見守り事業	21,125千円

4 選択・集中プログラム

(1) 緊急課題解決プロジェクト（緊急課題解決1「命を守る緊急減災プロジェクト」）

事業名	平成26年度当初予算
地域を支える警察活動強化事業	2,393千円

(2) 新しい豊かさ協創プロジェクト（新しい豊かさ協創5 県民力を高める絆づくり協創プロジェクト）

事業名	平成26年度当初予算
みんなで進める犯罪に強いまちづくり推進事業	664千円
犯罪被害者等支援対策の充実事業	1,426千円

5 主要事業

政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>《政策名：危機管理～災害等の危機から命と暮らしを守る社会～》</p> <p>〈施策名：(111)防災・減災対策の推進〉</p> <p>1 地域を支える警察活動強化事業【緊急課題解決1】 2,393千円 【(11102)災害対応力の充実・強化】 (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費) 地域住民の安全・安心の拠り所として重要な防災拠点である交番・駐在所にポータブル電源や避難誘導用具等の整備を進め、防災拠点機能の強化を図ります。</p>	警備第二課
<p>《政策名：暮らしを守る～誰もが安全で安心して暮らせる地域社会～》</p> <p>〈施策名：(131)犯罪に強いまちづくり〉</p> <p>1 (新)チャイルドガーディアンみえ推進事業 25,060千円 【(13101)みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進】 (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費) 犯罪被害から児童生徒を守るため、警察と学校、関係機関・団体との連携を強化し、統一的な活動を促進する「チャイルドガーディアンみえ」を警察署に配置し、不審者情報等の周知、合同パトロール、見守り活動等の一層の充実を図ります。</p> <p>2 子ども見守り事業 21,125千円 【(13101)みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進】 (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費) 通学路に近接し、強制わいせつや不審者情報が数多く認められる地区に街頭緊急警報装置を整備し、子どもを見守る機能の強化を図るとともに、子どもが犯罪被害に遭わない生活環境を確保します。</p>	少年課 生活安全企画課

<p>3 みんなで進める犯罪に強いまちづくり推進事業【新しい豊かさ協創5】 664千円</p> <p>【(13101)みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進】 (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>地域における少年の非行防止活動の核となる人材を育成するとともに、さまざまな主体による少年の非行防止活動を拡大するため、大学生ボランティアによる非行少年の立ち直り支援活動等を推進します。</p>	少年課
<p>4 (新)サイバー犯罪対処能力向上事業 9,077千円</p> <p>【(13102)犯罪の徹底検挙と抑止のための活動強化】 (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>サイバー犯罪に迅速・的確に対処するため、捜査用資機材の充実強化や民間事業者との連携強化を図るとともに、県民による被害防止のための自主的な取組を促進します。</p>	生活環境課
<p>5 暴力団対策推進事業 13,235千円</p> <p>【(13103)組織犯罪対策の推進】 (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>公的機関や金融機関等の事業者に対する暴力団員からの不当な要求による被害を防止するとともに、暴力団離脱者に対する支援を促進するなど社会全体での暴力団排除に取り組みます。</p>	組織犯罪対策課
<p>6 犯罪被害者等支援対策の充実事業【新しい豊かさ協創5】 1,426千円</p> <p>【(13104)犯罪被害者等支援対策の充実】 (第9款 警察費 第1項 警察管理費 2 警察本部費)</p> <p>犯罪被害者等支援に対する若者の理解を深め、支援活動への参画を促進するため、中学生、高校生および大学生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」を開催するほか、次代を担う若者、事業者等を対象とした幅広い広報啓発活動を推進します。</p>	広聴広報課
<p>7 警察署庁舎整備事業 420,531千円</p> <p>【(13105)県民の安全を守る活動基盤の整備】 (第9款 警察費 第1項 警察管理費 4 警察施設費)</p> <p>警察を取り巻く環境変化に対応できる警察署庁舎整備に取り組みます。</p>	会計課

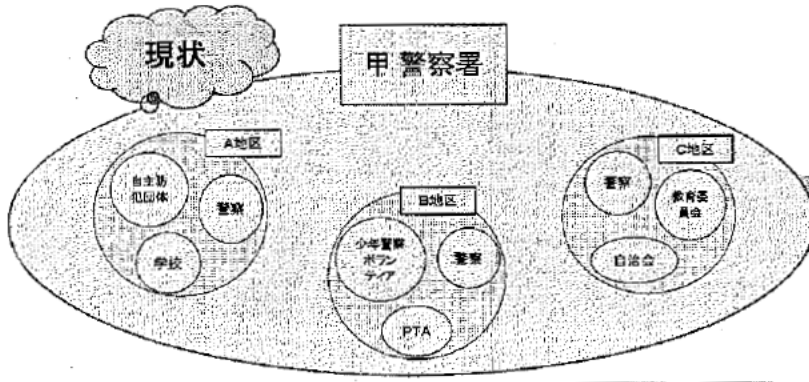
<p>8 警察本部庁舎電源対策事業 116,844千円</p> <p>【(13105)県民の安全を守る活動基盤の整備】</p> <p>(第9款 警察費 第1項 警察管理費 4 警察施設費)</p> <p>警察本部機能を確保するため、災害等あらゆる事態を想定した庁舎予備電源施設の整備を図ります。</p>	<p>会計課</p>
<p>9 警察官駐在所等整備事業 88,409千円</p> <p>【(13105)県民の安全を守る活動基盤の整備】</p> <p>(第9款 警察費 第1項 警察管理費 4 警察施設費)</p> <p>地域住民の安全・安心の拠り所であり、各種警察活動の拠点となる交番・駐在所の整備・充実を図ります。</p>	<p>地域課</p>
<p>〈施策名:(132)交通安全のまちづくり〉</p>	
<p>1 交通安全県民力向上事業 13,000千円</p> <p>【(13201)交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 3 交通指導取締費)</p> <p>「交通安全アドバイザー」による交通安全教育および広報啓発活動を推進し、交通事故抑止の原動力となる、交通安全に対する県民力を一層高めます。</p>	<p>交通企画課</p>
<p>2 暮らしと環境を守る交通安全施設整備事業 203,125千円</p> <p>【(13202)安全で快適な交通環境の整備】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 4 交通安全施設整備費)</p> <p>信号機の設置要望箇所のうち、交通事故が多発しているなど必要性、緊急性の高い交差点に信号機を整備し、安全・安心で円滑な交通環境を確保します。</p>	<p>交通規制課</p>
<p>3 通学路緊急安全対策事業 72,682千円</p> <p>【(13202)安全で快適な交通環境の整備】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 4 交通安全施設整備費)</p> <p>通学路における安全対策必要箇所に対して、交通安全施設の整備を図り、安心して通学できる道路交通環境を確保します。</p>	<p>交通規制課</p>

<p>4 (新)飲酒運転0(ゼロ)をめざす取締推進事業 2,042千円</p> <p style="text-align: right;">【(13203)交通秩序の維持】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 3 交通指導取締費)</p> <p>飲酒運転0(ゼロ)をめざすため、飲酒運転取締りを推進するとともに、交通安全教育、広報啓発活動を実施し、規範意識の定着および再発防止を図ります。</p>	<p>交通企画課</p>
<p>5 地域交通安全活動推進事業 2,635千円</p> <p style="text-align: right;">【(13203)交通秩序の維持】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 3 交通指導取締費)</p> <p>交通安全諸活動のリーダーとして活躍する「地域交通安全活動推進委員」の活動を促進し、地域における交通モラルの向上を図ります。</p>	<p>交通企画課</p>

チャイルドガーディアンみえ推進事業

担当
警察本部生活安全部 少年課

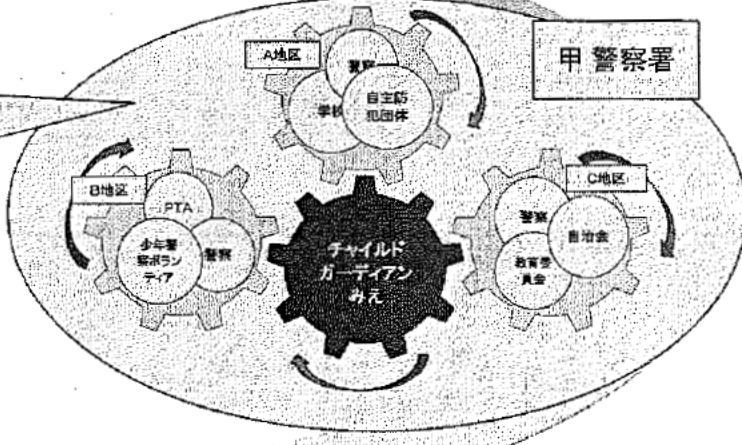
事業費：25,060千円



現状と対策

■現状
刑法犯認知件数が減少するなど、統計上、治安情勢が改善傾向を示す一方で、子どもが被害者となる凶悪事件が発生するなど県民の不安は解消されていません。県民が不安を感じる要因となっている社会情勢として、地域の連帯意識の希薄化、情報の氾濫、規範意識の低下等が考えられます。

■対策
現在、各地域では、それぞれの地区において、警察、学校、自主防犯団体等が子どもの安全・安心を確保するための活動を行っているところですが、「チャイルドガーディアンみえ」を警察署に配置するなどして、管内で活動する各種団体の組織力を結集させ、一体となった見守り活動等の取組の活性化を図ります。



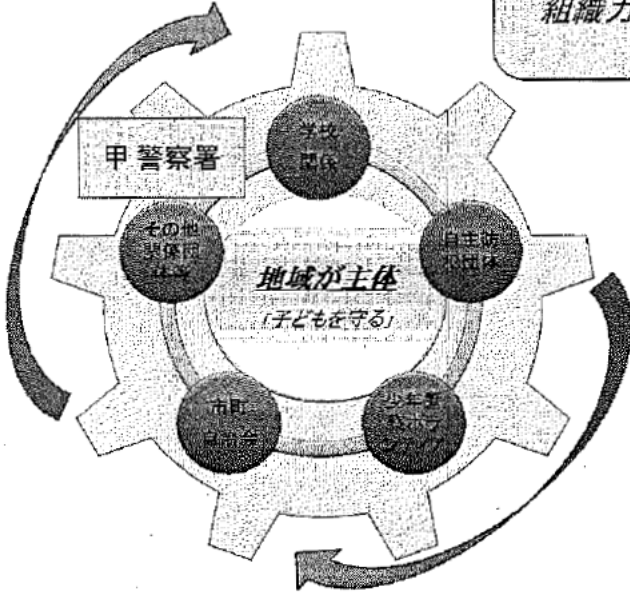
取組と効果

■取組・活動内容

- 犯罪情報、不審者情報、危険箇所に関する情報の共有
- 地区の枠を超えた見守り活動、合同パトロールの実施
- 地域安全マップの作成

■効果・めざす姿
警察署に配置した「チャイルドガーディアンみえ」が核となり、各種機関・団体の活動を活性化させることで地域が主体となった子どもを守るための活動が確立され、子どもが犯罪被害に遭わない社会の実現を目指します。

「チャイルドガーディアンみえ」
組織力の結集・活動の活性化



1 子どもの犯罪被害の現状

東京都練馬区の小学校前の路上で男児3人がナイフで切られて重軽傷を負った事件のほか、県内でも、女子中学生が帰宅途中に殺害されるといった子どもが被害者となる凶悪な事件が発生しました。また、これら犯罪の前兆事案ともいえる、声掛け・つきまとい事案も増加傾向にあるなど、子どもを犯罪被害から守るための対策が喫緊の課題となっています。

2 子どもを犯罪被害から守る環境の整備

平成16年度から3か年計画で街頭犯罪等が多発する道路や公園等にスーパー防犯灯等を整備し、犯罪の抑止を図ってきたところですが、経年による機能低下等が認められたことから、平成24年度以降、故障に強く、コスト面にも配慮した街頭緊急警報装置への更新整備を進めています。

3 街頭緊急警報装置による子どもの見守り強化

街頭緊急警報装置は、赤色灯が回転、警報音が吹鳴するほか、防犯カメラによる周辺映像の録画機能を有する機器であり、また、通信機能を除き、コンパクト化したことで故障に強く、設置工事費及び維持管理費ともに、低コストが見込まれます。

そこで、本装置をスーパー防犯灯等に代わる機器として整備することで、子どもの見守り機能の強化を図るものです。



4 平成26年度当初予算の内容

(1) 整備地区

2地区×8基 = 16基

- 津警察署管内
- 伊勢警察署管内

(2) 整備地区選定理由

スーパー防犯灯等の整備地区のうち、通学路や主要駅に近接し、強制わいせつ事件の発生や不審者情報が数多く認められる等、緊急に子どもの見守り機能の強化が必要と認められる地区を選定しました。

(3) 事業費

21,125千円



1 サイバー犯罪の情勢

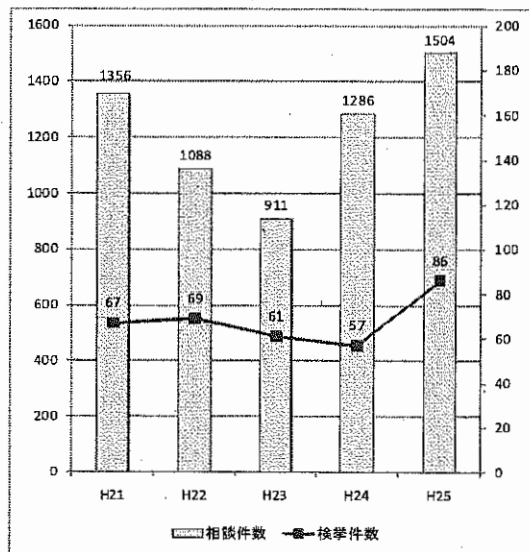
一昨年発生した遠隔操作ウイルス事件を受け、警察のサイバー犯罪に対する対処能力を強化することが最優先の課題となっています。

昨年は、インターネット利用者のパソコンをウイルスに感染させ、インターネットバンキングに必要なID・パスワード等を不正取得し、不正送金する手口が急増するなど、サイバー犯罪の脅威が大きな社会問題となりました。

三重県警察における、平成25年のサイバー犯罪の検挙数は86件（前年比+29件）と過去最高となり、また、相談受理件数も高水準で推移しています。

このため、警察では、サイバー犯罪に係る体制及び捜査員の対処能力の強化に組織を挙げて取り組んでいるところです。

図 サイバー犯罪に関する相談受理件数及び検挙件数（三重県警察）



2 事業概要

サイバー犯罪は、匿名性が高く痕跡が残りにくいなどの特徴を有しており、サイバースペースの安全・安心の確保が喫緊の課題となっています。

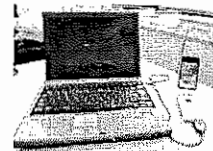
サイバー犯罪に迅速・的確に対処するため、捜査力、解析力の強化を図るほか、民間事業者等の知見を活用した捜査の推進、官民一体となった抑止対策を推進します。

3 事業内容

(1) 捜査力、解析力の強化

複雑・巧妙化するサイバー犯罪に対処するため、解析用資機材を警察本部及び各警察署に設置し、サイバー犯罪に使用されたスマートフォンや携帯電話などを迅速に解析し、解析結果を捜査に役立てます。

また、電子データを適正に証拠化する技術を習得するため、捜査員に対する教養・訓練を実施します。



(2) 民間事業者等の知見の活用

サイバー犯罪捜査は、警察の取組みだけでなく民間事業者等との連携を強化し、民間事業者が保有する最新の知見を活用することが必要不可欠であるため、大学教授等の研究者や民間企業の技術者から教養や指導・助言を受け、捜査員の知識の底上げを図ります。



(3) 官民一体となった抑止対策

サイバー防犯ボランティアや民間企業、民間団体等によるサイバー犯罪抑止対策に関する広報・啓発活動を活性化させるため、サイバー犯罪に対処するための研修会等を開催し、自主防犯活動を支援することによって、官民が一体となったサイバー犯罪対策を推進します。



4 事業費

9,077千円

通学路緊急安全対策事業

1 事業概要

全国各地で通学児童の死傷事故が相次ぎ、早急な通学路における安全確保を図るため、前年度に実施した緊急合同点検の結果に基づく対策必要箇所の環境整備に引き続き、通学路における横断歩道や一時停止などの交通規制の実施に伴う交通安全施設整備及び老朽化している信号柱の更新整備を図り、安心して通学できる道路交通環境を整備するものです。

2 事業費

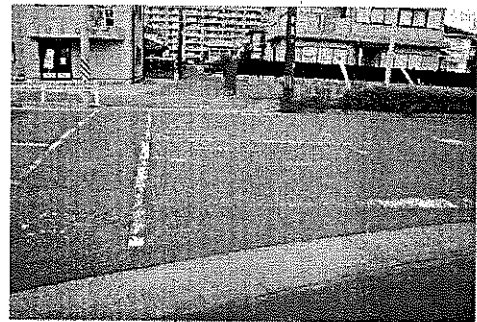
72,682千円

【内訳】

信号柱関係	
信号柱更新	35本
標識・標示関係	
路側式標識	110本
横断歩道	310本
実線	6km
図示	2,635個

【対策の効果】

対策前



対策後



【安全・安心な通学路の確保】

3 事業効果等

通学路を中心に交通安全施設の整備を図ることにより、通学児童等の安全を確保するとともに、地域全体で交通安全を考えるとといった交通安全意識の高揚等が図れ、相乗的に交通事故防止につながるものです。

これまでの通学路における安全対策で構築された市町、教育委員会(学校)、道路管理者等との協力体制を活かし、今後も通学路の安全確保に取り組んでいきます。

議案第103号「平成25年度三重県一般会計補正予算(第8号)」(警察本部関係)

【単位:千円】

	事業名	補正前の額	補正額	補正後の予算額	主な補正内容
1	委員会総務費	8,035	△ 221	7,814	公安委員報酬の減額
2	給与費	30,128,333	△ 352,054	29,776,279	職員給料、退職手当の減額
3	警察運営費	514,898	△ 9,836	505,062	警察職員被服費の減額
4	被害者対策・相談業務対策費	52,150	△ 1,047	51,103	警察署協議会委員報酬の減額
5	情報管理対策費	196,828	△ 524	196,304	システムリースの減額
6	施設等運営費	944,095	7,136	951,231	本部庁舎、警察署等の光熱水費の増額
7	運転免許センター維持管理費	164,150	4,707	168,857	運転免許センター光熱水費の増額
8	警察装備費	414,054	3,567	417,621	警察活動車両用燃料費の増額
9	ヘリコプター維持費	74,516	244	74,760	ヘリコプター修繕料の増額
10	警察署庁舎整備費	9,365	0	9,365	
11	県単警察施設整備費	69,162	△ 129	69,033	駐在所新築工事費の減額
12	運転免許費	884,569	△ 5,131	879,438	更新時講習実施費の減額
13	恩給費	79,870	△ 1,061	78,809	扶助料の減額
14	警察活動諸費	287,101	△ 902	286,199	一般警察活動費の減額
15	刑事警察活動費	330,056	△ 5,117	324,939	捜査支援システム回線使用料の減額
16	生活安全警察活動費	268,251	△ 906	267,345	通信指令システム関係消耗品費の減額
17	テロ等対策費	45,839	25,637	71,476	皇室、要人の来県を想定した警備経費の増額
18	暴力団対策費	15,184	6	15,190	責任者講習委託料の増額
19	銃器・薬物対策費	2,992	△ 464	2,528	猟銃技能講習委託料の減額
20	少年警察活動費	21,667	△ 613	21,054	支援活動員報酬の減額
21	地域安全確保総合対策費	181,080	△ 135	180,945	地域警察関係消耗品費の減額
22	災害警備対策費	6,208	△ 3	6,205	鑑定業務継続用工事費の減額
23	交通事故防止対策費	186,104	△ 2,481	183,623	交通活動用印刷製本費の減額
24	交通環境整備事業費	142,984	△ 2,974	140,010	道路使用調査業務委託料の減額
25	交通安全意識高揚事業費	39,506	△ 178	39,328	安全運転管理者講習実施費の減額
26	国補交通安全施設整備費	489,718	△ 9,133	480,585	交通信号機震災対策事業工事費の減額
27	県単交通安全施設整備費	225,649	△ 609	225,040	紀勢線開通に伴う交通安全対策推進事業の減額
28	交通安全施設維持費	567,129	△ 23,476	543,653	交通管制センター回線使用料の減額
	警察費合計	36,349,493	△ 375,697	35,973,796	

議案第52号 「三重県警察関係手数料条例の一部を改正する条例案」

1 改正理由

道路交通法（昭和35年法律第105号）等の一部改正に伴い規定を整理し、消費税法等の一部改正による地方公共団体の手数料の標準に関する政令（平成12年政令第16号）の一部改正に伴い手数料の額を改定するとともに、三重県税外収入通則条例（昭和39年三重県条例第13号）の一部改正に鑑み規定を整理するため、三重県警察関係手数料条例（平成12年三重県条例第22号。以下「手数料条例」という。）の一部を改正する。

2 改正内容

(1) 道路交通法等の一部改正に伴う規定の整理

道路交通法の一部を改正する法律（平成25年法律第43号。以下「改正道交法」という。）のうち、附則第1条本文に規定する日から施行するものに関して、手数料条例の規定を整理する。

改正する項目	現 行	改正案
第8条第1項第12号 別表第7の12の項	第89条第2項	第89条第3項
別表第7の11の項	第97条の2第1項 第3号	第97条の2第1項 第3号又は第5号

(2) 地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴う手数料の改定

消費税及び地方消費税の税率の引き上げ等に伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令に規定する手数料の額が見直されることから、手数料条例別表第7に規定する駐車監視員資格者講習手数料を改定する。

手数料の種別	現行の額	改正案の額
五 駐車監視員資格者講習手数料	1万9千円	2万円

(3) 三重県税外収入通則条例の一部改正に鑑みた規定の整理

三重県税外収入通則条例の一部改正に鑑み、手数料条例に、三重県公債権の徴収に関する条例との関係についての規定を整理する。

本則に次の1条を加える。

（他の条例との関係）

第13条 この条例に定めるもののほか、三重県公債権の徴収に関する条例（昭和39年三重県条例第13号）に定める事項については、その定めるところによる。

3 施行期日

手数料条例の改正うち、

- ・ 2の(2)及び(3)の改正は、平成26年4月1日から施行する。
- ・ 2の(1)の改正は、改正道交法附則第1条本文に規定する日から施行する。